新潟県剣連会報

第 99 号
平成28年７月７日
発 行
新潟県剣道連盟
事務局　〒950-0916
新潟市中央区米山５丁目1-25
小林ビル４階
TEL025－244－3481
FAX025－244－3482
http://niigata-kenren.com

28年度はじめにあたって

一般財団法人新潟県剣道連盟
代表理事・会長　齋藤　榮

会員各位にはご健勝でそれぞれの立場で新年度を迎えられたものと思います。

ところで新剣連では5月22日に定例評議員会が開催され、昨年度決算に関する承認の件、定款の一部変更に関する件についてご承認いただき、さらに28年度事業計画並び収支予算始め、規程の改正等の報告事項についてご了解いただきました。その結果、評議員各位のご協力により正式に新剣連の始動を見るにいたったことを喜んでおります。これも新剣連が2年前に恥ずべき不祥事に深く学んで設立した事実と改革の理念を忘却することなく財団法人の健全経営に当って欲しいという激励があっての賜物であると考えております。当然のことですが、老生はじめ執行理事は運営・統治に当たっては法令遵守（コンプライアンス）と、「分」を弁えた統治・道徳に徹しております。また財政の主要なあり方では分限（経済力）に応じて支出に限度を設けながら、剰余は譲り合いの精神の下、財団の安泰のための目標を明確に設定し処理すると云う原則踏襲にほかなりません。繰り返しになりますが、お陰で、新剣連は順調に航海しております。

されど、留意すべきは、世の中は常に「年年歳歳花相似たり」とは成らないことです。人は常に変わり、考え方（思潮）も川の流れの如くです。そのような意味から、正しい社会のためには常に良き目と耳、そして特に正しい言葉を心の奥に持つ番人が必要であります。評議員は当然その良識ある番人でありますが、会員各位にも特に新剣連の良き番人であり続けて頂きたいと切に願っております。

結びに、剣道を我が国古来の武道の精華であると老生は高く評価し、愛する者の一人であります。当然のこととして、各位と共に「同心偕行」（剣道を学ぶ志を同じくする者が共にその徳を求めて歩む）の意義を大切に、更なる剣の理法に深く学ぶべく稽古して倦むことのない一年でありたいと願っております。各位におかれても「同心偕行」を一層盛んにされ、結果として、それがそれぞれの剣道連盟の充実発展に結び付くよう特に念じご挨拶といたします。

会員のため

専務理事　久我　正作

平成28年5月22日(日)、「平成28年度の定例理事会・評議員会」が開催され平成27年度事業報告・決算及び平成28年度事業計画（案）・予算（案）についての審議・承認・報告がなされるとともに定款の一部変更（案）の決議をはじめ規程の一部改正についての報告など、無事終了いたしました。これも会員の皆様のご理解とご協力により、事業計画に基づく事業を着実に実施することができた賜物であり、この紙面をお借りして御礼申し上げます。

この度の理事会、評議員会におきましては、新剣連の事業各般にわたり、幅広く問題点の提起や意見をいただきました。こうした意見等も踏まえ、「会員のための新剣連」ということを常に念頭におき、一つひとつの事業に確実に取り組んでいきたいと考えております。

定例評議員会

平成28年5月22日、13時から亀田総合体育館会議室において定例評議員会を開催致しました。今回は定款の一部変更があり、また質疑等も積極的に行われ、議長のスムーズな進行と評議員の真摯なご審議により全て議案が承認されました。

1　開会宣言
2　会長挨拶　会長　齋藤　榮
3　功労者表彰
・全国中学校剣道大会団体戦　準優勝
　新潟県選手
・第46回全国高等学校定時制通信制剣道大会　女子個人戦　準優勝選手
4　議長選出
　小千谷剣道連盟　藤田　豊
5　議事録署名人選出
　白根剣道連盟　浅原　行雄
　西蒲剣道連盟　杉原　芳也
6　報告事項
(1)　平成27年度事業報告について
(2)　平成28年度事業計画について
(3)　平成28年度収支予算について
(4)　規定の改正について
・(一財)新潟県剣道連盟審査員選考委員会規定の一部改正
・(一財)新潟県剣道連盟剣道審査員規定の一部改正
・(一財)新潟県剣道連盟剣道段位審

査規定の一部改正
・(一財)新潟県剣道連盟段位審査時における申し合わせ事項の一部改正
7　その他
(1)　平成28年度負担金について
(2)　少年剣道教室等実態調査表
8　質疑応答
〈質疑〉新剣連後援剣道大会の支援金制度の復活を願いたい。
〈応答〉今後の収支決算の推移を見て検討したい。
その他収支決算に予備費の項目を設け対処、また強化の為の遠征費の増額を希望する等の意見が出されました。佐渡での審査会に四段が今年から実施しない事となりましたが、四段は指導的立場にあるので修練を積んで頂き、五段受審と同様の場で受けて頂く旨の理解を求め閉会となりました。活発な意見が出されました事をご報告致します。
9　閉会のあいさつ

定例評議員会の風景

功労者表彰

◆全国中学校剣道大会
団体戦準優勝の功労
燕市立燕中学校
相場　葵　丸山　萌々
中村紗菜子　中村　美空
辰口　萌子　本間　朱莉
奥山　真昼

◆第46回全国高等学校定時制通信制剣道大会女子
個人戦準優勝の功労
新潟市立明鏡高等学校
大竹　真央

心を一つに

燕中学校三年　**辰口　萌子**

昨年の八月に秋田県立武道館で行われた「第45回全国中学校剣道大会」に新潟県代表として出場することができました。

私は、各都道府県代表選手と剣を交えることができとても勉強になりました。未熟なチームでしたが部員8人の心を一つに一戦一戦、戦いました。全員がこのチームで一つでも多く試合をしたいという気持ちで臨みました。接戦が続きましたが先鋒から大将まで一本を大切に、そしてチームのために試合をしました。しかし、結果は準優勝。目標としていた「全国大会優勝」にあと一歩届かずとても悔しい思いをしました。ですが、自分たちの剣道を決勝戦までやりきる事ができたので良かったと思います。

この全国大会で、チームの仲間、先生と目標を掲げ、自分を信じて戦うことの大切さ、一つの目標に向けて励まし合うことのできるチームメイトがいる素晴らしさを学びました。

新チームはまだまだ昨年のチームに比べるととても弱いですが、先輩方の思いを繋げられるように頑張ります。沢山の方々のご支援ご声援本当にありがとうございました。

評議員会の冒頭、表彰式を行いました。

専門部あいさつ

専門部委員長に今年度の活動について述べていただきました。

―専門部総務委員長―
久保田幸正

平成27年度は、前年度からの課題について検討を重ね、先の評議員会で定款の一部変更と規程の一部改正を承認していただきました。本年度は広く県民の剣道・居合道・杖道の普及・振興のため、定款・規程の検証をしつつ見直しをしていきたいと思います。

―審査・講習委員長―
山田　義雄

今年度の取り組みについて　一期一年目は、審査員の資質の向上および審査上の共通理解を図るため、懸案であった審査員研修会を三回（一回は、全剣連派遣講師による指導者講習会）を実施いたしました。また3月には、審判講習会講師担当者による事前打ち合わせと研修会を開きました。各審査員の真摯な取り組み、建設的な意見を集約することができ、今年度の審査および講習会に活かしていきたいと考えております。

さて昇段審査につきましては全剣連「剣道称号・段位審査規則」に基づいて実施しています。初・二・三段は、基本をそれぞれ「修習し」・「修得し」・「修練し」が合格の基準となっています。

残念ながら、正しい切り返しができなくて不合格になっている中学生がいます。これは指導者の責任です。剣道の基本に対する認識を自ら修練し改めて頂きたいと願っております。その為に指導者講習会を開催しておりますので積極的な参加をお願いします。

審判講習会につきまして、今年度は講習会が一過性のものではなく継続性を持ってもらうため講習会資料を用意しました。また審判長および審判主任が指導助言していく中で、個々の審判技術を向上させていただきたいと願っております。

また高体連の申し出により「高体連ルール」について各会場で説明をしていただいています。試合者の年齢に応

じた審判上の課題があります。それらを共有することが正しい剣道に導くことに繋がります。来年度は、中体連も積極的にこの講習会を活用して頂きたいと願っています。

次に六・七・八段受審者講習会につきましては、内容・方法等検討を加え、より実効性のあるものにして行きたいと考えております。

今後も審査員の研修会を実施し、資質を高めるとともに、各講習会の充実に委員一同努力していきますので、会員各位のご理解とご協力そして積極的な参加をお願いいたします。

―事業・普及委員長―　上谷　洋二

28年度の事業遂行にあたり　すでに28年度事業が粛々と進められておりますが、昨年実施した事業について、皆様より多くの御意見を頂戴しました。

これについて、今年度定例理事会において事業普及委員会の各事業の見直し（案）を提起し検討していただきました。主な内容としては

1. 新潟県選手権・高段者大会については、午前中選手権、午後高段者大会とし夫々の開会式、閉会式を実施し、高段者は12時集合、選手権終了後開始する。但し、来年度以降は本年度の結果をみて方向を決定する。
2. 新剣連の主行事である県大会の予算削減対策の一環として、参加賞の手ぬぐいを、各方面に利用できる「県連の手ぬぐい」をまとめて作成・購入する案について、賛成多数でしたが、予算措置の問題もあり実行の時期も含め執行部にて実施の方向で検討する。

以上のことが確認されました。

さて昨年は県大会が諸事情により日程・主管団体が変更となり、各連盟にご迷惑をおかけしましたが、横越剣道連盟の配慮により、無事実施出来ましたことに感謝申し上げます。

28年度の事業についても各連盟の更なるご協力をお願いいたします。

高段者大会、県大会の参加者が減少傾向にあります。特に女性陣の積極的な参加をお願いいたします。

―強化委員長―　佐藤　好美

強化委員長を命ぜられ2年目を迎えました。一年目の昨年は、国民体育大会をはじめ各種全国規模の大会で優秀な成績を収め本県剣道界の名を高めることを目標として取り組んできました。

結果として、国民体育大会少年女子の部で5位入賞、全国剣道大会団体準優勝及び全国高等学校定時制通信制剣道大会個人準優勝（大竹真央）を収めることができたものの、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会及び全日本選手権大会については一回戦敗退という結果でした。

当初、私の目標は、各種大会で優秀な成績を残すのはもちろんのこと本県全体の剣道人口の増加と剣道技能の底上げを目標に取り組んで来たところです。

各種大会の結果を見てもわかるように、強化は道半ばであり、更に各種稽古会への参加を呼びかけ引き続き強化を図って行きたいと考えております。

最後に剣道の楽しさを身を持って感じ、そして継続することが我々が目指す「生涯剣道」に繋がると考えていますので御趣旨をご理解のうえご協力頂きますようお願い致します。

―居合道・杖道部会委員長―　今井　恒之

新年度のスタートにあたり居合道部会においては、今まで検討してきた各部門会（指導・強化・大会）の活動が具体的に始まります。会員の声を聴きながら部会の活動の活性化を図ります。

杖道部会においては、部会単独活動や活動拠点の新設等の普及活動を計画しております。部会員の皆様のご協力をお願い致します。

―広報委員長―　大図　正弘

昨年度は計画通り、2回の会報誌発行を行い、ホームページも内容を充実しタイムリーな情報発信に務めました。今年度も会報誌につきましてはさらに内容を充実すべく努力して参ります。

支部、会員皆様からの情報提供、大会観戦記、講習会参加感想等の寄稿をお待ちしております。

平成28年度 第71回 岩手国体・都道府県対抗
強化スタッフ

今年も、国体・都道府県対抗強化スタッフが選出されました。ご紹介します。

【総監督（強化総括責任者）】佐藤　好美（警察剣道連盟）

【種別担当】

成年男子・少年	竹内　知宏	（教員・新潟商業）
成年女子・小学生	内野　葉子	（教員・新潟聾学校）
少年総括	堀　広輝	（教員・新潟高校）
中学生	藤田　淳	（教員・小針中学校）
少年男子	藤澤　裕二	（教員・新潟南高校）
少年女子	藤塚　肇	（教員・五泉高校）

【種別コーチ】

少年男子	藤塚　直	（教員・羽茂高校）
	玉虫　一憲	（教員・新潟明訓高校）
少年女子	町田　朋子	（教員・新潟工業高校）
	重野　太志	（教員・新潟商業高校）

【強化支援スタッフ】

白井　吉満	（長岡剣道会）
山田　義雄	（燕剣道連盟）
中嶋　直人	（警察剣道連盟）
石川美奈子	（五泉市剣道連盟）
加藤　治	（学校剣道連盟）
浜田　尚	（新潟市剣道連盟）
磴　泰介	（警察剣道連盟）

大　会
結果報告

その他の大会は
新剣連ホームページを
ご覧下さい

第64回全国都道府県対抗剣道優勝大会観戦記

強化委員長　**佐藤　好美**

平成28年4月29日(祝)天阪市エディオンアリーナ大阪で開催されました。本県は一回戦、長崎県チームと対戦し2（4本）対3（5本）で惜敗でした。試合状況は次のとおりでしたのでご報告致します。

長崎県　　**新潟県**

先鋒○松﨑メメ　－　×野瀬
次鋒○草野メ　－　×坂爪
五将×山城　－　コ○木村
中堅△宮崎ド引き分けメ△高橋
三将○藤山メ　－　×赤塚
副将△深川　引き分け　△植田
大将×平山　－メメ○吉田

・先鋒戦（野瀬）
立ち上がり早々先制攻撃を仕掛けて面を奪ったかに見えたが惜しくも不十分。その後も先々と攻撃を仕掛け優位な試合運びを進めるも一呼吸置いて小手面に出たところ面に乗られ先取される。一本返そうと果敢に技を出すが鍔迫りからの分かれ際、引き面を奪われ二本負けとなる。

・次鋒戦（坂爪）
相手は上段、長身の坂爪これを苦にせず積極的に攻めるも左小手打ちに出たところ抜き面を打たれる。その後も積極的に攻め続け、惜しい打ちが何本か有ったが、有効打突にならず一本負けとなる。

・五将戦（木村）
ポイントゲッターの木村、なんとか流れを変えたいところ、あせらず相手をみて、相手の手元がわずかに上がるところを逃さず小手に決める。一本先取後も攻撃を保ち危なげなく一本勝ちを収める。

・中堅戦（高橋）
強敵にも強気な攻撃を仕掛けるのが身上の高橋。積極的に攻め、相手の出頭を狙い続け相手の一瞬の隙をついて飛び込み面を決める。このまま一本勝ちかと思われたが時間終了間際、引き胴を決められ惜しくも引き分ける。

・三将戦（赤塚）
リードを許したチームの流れを挽回すべく自分から間合いを詰めて飛び込み面、小手を狙う。その後も攻め続けるが、一瞬足の止まったところを面に決められ取り返そうと必死に技を出すが時間切れで無念の一本負けとなる。

・副将戦（植田）
勝たなければチームの負けが決まるという厳しい副将戦。スピードのある小手技を中心に攻めるが相手も有効打を許さず拮抗した試合展開となる。時間終了間際に放った小手は機会を捉え一本かと思えたが旗が上がらず残念ながら引き分けに終わる。

・大将戦（吉田）
チームの勝敗は決したとはいえ大将として堂々とした戦いぶりの吉田。大きな構えと強い気迫で相手を攻め、相手が小手を打ち居着いたところを面に決める。二本目はお互い一歩も引かない攻防の中、相手の気持ちが居つくわずかな隙を捉えて豪快な飛び込み面を決める。新潟の力を見せる見事な大将戦であった。

第25回女子剣道選手権大会兼第55回全日本女子剣道選手権大会県予選会

6月12日(日)　高田スポーツセンター

優　勝　小川萌々香（19）地蔵堂
準優勝　熊谷　真純（20）地蔵堂
3　位　笠原　彩衣（23）警　察
3　位　高橋　愛子（25）警　察

上位2名は今年から兵庫県から長野県に舞台が移り、来る9月11日(日)長野県ホワイトリング長野市真島スポーツアリーナで開催の「全日本女子選手権」に出場します。大会に向けてお二人の抱負を頂きましたのでご紹介します。

地蔵堂・日本体育大学　**小川萌々香**

今回、全日本に出場させて頂くことになった瞬間はとても嬉しく思いました。それと同時に、新潟県の代表として出場させて頂くからには、上位進出を目指して頑張りたいと強く思っています。全日本女子選手権は日本の女子の剣道大会で最も大きいもので、憧れていた大会でもあります。その大会に出場出来ることに感謝をし、また初めての出場となるため、挑戦者の気持ちで、思い切って精一杯戦ってきたいと思います。

地蔵堂・明治大学　**熊谷　真純**

初出場なので挑戦者の気持ちを忘れず、長野県開催ということで、新潟県の代表だけでなく北信越ブロック代表という自覚を持ち、代表の名に恥じぬような試合をしたいです。応援宜しくお願い致します。

講習会の報告

剣道中央講習会に参加して

柏崎剣道連盟　渡邉　希一

第51回東日本剣道講習会が4月2日・3日の二日間、千葉県勝浦市の日本武道館研修センターにおいて開催され、佐藤好美先生と参加した。開講式で「同じ日に西日本でも講習会が開催されている。以前は東と西で講習内容に差異があったりしたが、今ではそんなことが無いよう、講師は事前に十分打ち合わせをしてこの場に臨んでいるので、しっかり学んで各連盟に戻って講習内容を正しく伝えてもらいたい。」と話があり、北海道から三重までの受講生は責任の重さを確認した。

最初に日本剣道形の歴史と文化性、重点事項についての講義があり、その留意点について示範と実技指導が一本ずつ丁寧に行われた。午後からは審判法の講義の後、二会場に分かれて実技が行われた。講義では「近年勝つために手段を選ばない風潮が見受けられる。これを正すのは審判である。」との話があった。

残心、正しい鍔競り、不当な体当たりなど有効打突の判定、禁止行為の見極めをしっかり審判することで試合、剣道が良くなることを常に心に留めておきたい。また打突後竹刀で床を叩いたり、振り向く時に防御姿勢をとったりという場合は一本にすべきではないと話があったが、これはテレビ放映される全国大会などで正していかねばなかなか直らないだろうと感じた。

二日目はアンチ・ドーピングの講義から始まった。今月も「サプリメント接種に関する注意喚起」が出されたので注意しなければならない。その後終了までは指導法の講習で礼法や作法の細かな部分を再確認できた。本講習内容については、事務局と相談して今後、県内への普及を図っていきたい。終わりに二日間ご一緒いただいた佐藤先生に感謝するとともに、このような機会を与えていただいた新潟県剣道連盟に謝意を表して報告としたい。

地域通信

第60回記念 白根剣道大会を終えて

白根剣道連盟会長　浅原　行雄

第六十回白根剣道大会を開催にあたり新潟県剣道連盟の皆様には精神誠意のご協力を頂きまして洵に有難うございました。心底よりお礼申し上げます。

この度は記念大会でもあり二日間に亘る大会に万障に都合を付けて頂きました。来賓の皆様、審判員を務めて頂きました先生方に重ねて深くお礼感謝申し上げます。

本大会は先人の先生方が大正12年、春のお彼岸の日に第一回大会を開催され戦前、戦中、戦後の混乱期に開催できない時期もありましたが、会場にお越し頂いている皆様方、又、永きに亘りご支援とご協力を頂いた皆様のお陰と思っております。近年この地域は剣道人口と言うよりも極端な少子化で子供が非常に少なくなり少年剣士会員確保に懸命に取り組んでおりますが中々前に進めません。

この大会も一時出場選手が少なくなりましたが近年、県外強豪チームが多く参加して頂ける様になり年々レベルの高い試合や手に汗握る熱戦が数多く見られる様になりました。新潟県全域は無論の事、県外は東北地区、北信越地区、関東地区と各地域のトップレベルの選手が集まりお陰様で参加選手が増え続けており有難く思っております。試合結果は新潟県剣道連盟ホームページでご覧の通り、小学生、中学生の部、団体戦は五部門の内中学生男子の部で辛うじて地元の剣士が優勝旗を一本取りましたが四部門で県外勢（群馬、東京、茨城）に優勝旗を持って行かれましたが県内の少年剣士のレベルアップと増加に繋がれば幸いと思っています。又、審判員も主任も含め十人で構成し審判員の負担軽減と試合のレベルアップが今後の内容の充実で少年剣士の増加にプラスになればと思っております。

個人戦・団体戦の選手が1800名を超える大会でしたが、皆様のお陰で無事終えられた事を改めて御礼申し上げ結びと致します。洵に有難うございました。

今後の予定

〈7月〉
- 三県都市対抗剣道大会　7月3日（糸魚川）
- 公認審判講習会　7月10日（新発田）
- 新潟県女子講習会　7月10日（上　越）
- 第8回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会　7月16日（東京都）
- 居合道公認審判認定審査会　7月18日（新潟市）
- 昇段審査会（初段～五段）　7月31日（上　越）

〈8月〉
- 昇段審査会（初段～三段）　8月7日（小千谷）
- 昇段審査会（初段～三段）　8月7日（阿賀野）
- 昇段審査会（初段～三段）　8月8日（新潟市）
- 第58回全国教職員剣道大会　8月9日（那覇市）
- 定例理事会　8月11日（新潟市）
- 昇段審査会（初段～三段）　8月14日（三　島）
- 第41回新潟県少年少女剣道大会　8月20日（新潟市）
- 県選手権・全日本予選・高段者大会　8月21日（胎　内）
- 北信越国体　8月28日（長野県）

〈9月〉
- 昇段審査会（初段～三段）　9月4日（警　察）
- 新潟県合同稽古会（上越会場）　9月10日（上　越）
- 第55回全日本女子剣道選手権大会　9月11日（長野県）
- 県スポーツフェスティバル壮年大会・ねんりんピック（同日開催）　9月11日（中之口）
- 中山博道旗争奪剣道大会　9月18日（地蔵堂）
- 第11回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会　9月18日（大阪府）
- 全会津親善剣道大会　9月19日（会　津）
- 居合道六七段受講講習会　9月22日（豊　栄）
- 角田山旗争奪剣道大会　9月22日（西　蒲）
- 第55回新潟県居合道大会　9月25日（新潟市）

〈10月〉
- 昇段審査会（初段～五段）　10月2日（長　岡）
- 第71回国民体育大会　10月8日～10日（岩手県）
- 全剣連後援剣道指導者講習会　10月16日（新潟市）
- 第64回新潟県剣道大会　10月23日（五　泉）

〈11月〉
- 小須戸剣道大会　11月3日（小須戸）
- 第64回全日本剣道選手権大会　11月3日（東京都）
- 昇段審査会（初段～三段）　11月6日（佐　渡）
- 公認審判講習会（同日開催）　11月6日（三　条）
- 昇段審査会（初段～三段）　11月6日（三　条）
- 居合道審査会　11月6日（上　越）
- 新発田剣道優勝大会　11月13日（新発田）
- 第57回新潟県実業団剣道大会　11月23日（新潟市）
- 第25回新潟県中学校選抜大会　11月27日（新潟市）

〈12月〉
- 北信越合同稽古会　12月3日（富山県）
- 昇段審査会（初段～五段）　12月18日（新発田）

公認審判講習会の模様（上越）

原稿募集

広報委員会では、地域通信・短信のコーナーの原稿を募集しています。
支部同士での合宿交流や稽古会、練習試合、地域に根ざした伝統の大会など、活動状況などをお送り下さい。

新潟県剣道連盟のQRコードです。ご利用ください。

編集後記

春の昇段審査で見事昇段された先生方おめでとうございます。日頃の精進に敬意を表します。段位は問わず、高齢の先生方がはつらつとした稽古を行っている姿に憧れすら感じています。私自身、30、40代は故障箇所が出来てもすぐに治っていたものですが、初老になり手首・アキレス腱・肘・腰・膝の痛みは身体の一部と諦め、一生付き合うと決めました。ただ私の場合は体重とアルコールの量を減らせば少しは緩和すると思いますが……。皆様はいかがでしょうか。
健康法や肘に効果あるストレッチなどがありましたら、広報報告書で事務局にお寄せいただきたいです。生涯修行の剣道です。少しでもストレスをなくすことができれば幸いです。
（佐渡侍）